

編集後記

私がパソコンを購入した30年ほど前は、使用する時間が1日1時間を越えることはなかった。最近では朝から夜までパソコンやスマホなどを使っている。大学の無線LANや民間のサービスによって、空中を飛び交う情報量も膨大なものとなっているのであろう。インターネットから得られる情報は有益なものがほとんどではあろうが、中には問題となるものもある。これからも情報セキュリティを強く意識しながら、情報の取得・発信をおこなう必要があるのだろう。

(後藤)

情報技術の活用は企業や組織の生産性を高めるために不可欠です。今日においては、情報技術がなければ企業や組織の運営が成り立たないように思えます。一方、今日の大学の授業は、情報技術がなくても成り立ってしまいます。しかし、情報技術を活用することで教育効果を強力に高めることが可能なはずで、教育の情報化は総合情報処理センターの重要な役割の一つであると考えております。

(佐藤)

今号の巻頭緒言に吉澤理事が書かれておられますが、私自身も情報に振り回されている一人です。PCは今や日々の生活に欠くことができないものとなっており、それを基盤として教育、研究、会議、大学内の全ての仕事が成り立っている状態です。だからこそ安全第一で、PCにトラブルがあった時はその対応だけで莫大な時間、労力、経費がとられますし、何よりひどくブルーな気分になります。総合情報処理センターや弘前大学CSIRTが大学の安全を守りつつ、私たちの日常を支えていることを忘れないようにしたいものです。

(下田)

今年の冬も例年になく冬らしからぬ推移で、ドカ雪が降ったり解けたりで色々大変です。最近、雪雲や雨雲の接近を教えてくれるスマホのアプリを見つけて重宝しています。スマホに関する記事でも、普及が進み便利に利用されているようです。私も今回スマホの便利さを再認識させられましたが、ダークサイドも忘れてはならないことをニュースが報じることもあります。情報機器の使用技術だけではなく、理念も教育する必要があり、大学内では総合情報処理センターに期待が掛かってくることが予想されますので、センターにはそのための準備をお願いしたいと思います。

(丹波)

本号には学生のスマートフォン利用状況が掲載されております。便利なアプリが日々登場しておりますが、アプリの登場に必ずしも利用する側が追いついていない感があります。アプリ更新も頻繁に促されるようになることを考えると、手間以上に便利を感じられかつ長いスパンで利用可能なアプリの登場を心待ちにしております。

(野坂)